

# 日進市第2期にっしん幸せまちづくりプラン策定のための 市民アンケート ～ご協力をお願いします～

日頃は日進市の地域福祉の推進にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

日進市及び日進市社会福祉協議会では、「にっしん幸せまちづくりプラン」(計画期間：平成27年度～令和6年度)に基づき、市民活動をはじめ、行政、地域福祉の推進を目的とする団体である社会福祉協議会、社会資源である社会福祉事業者等による重層的な支援体制を構築し、地域福祉のさらなる発展を目指してきました。

現在のプランの計画期間が令和6年度末で終了するため、今年度から令和6年度にかけて、新たに「第2期にっしん幸せまちづくりプラン」の策定に着手することになりました。

新たなプランの策定にあたり、市民の皆様からご意見を伺い、プランに反映させるため、アンケートを実施することになりました。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和5年12月

日進市長

近藤 裕貴

日進市社会福祉協議会 会長

青山 雅道

**回答期限：令和6年1月■日(■)**

**次ページを必ずお読みください。**



# 日進市第2期にしん幸せまちづくりプラン策定のための 市民アンケート

## 1. あなた自身やご家族のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。【○は1つだけ】

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。【令和6年1月1日現在の満年齢】  
【○は1つだけ】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 18歳から29歳まで | 5. 60歳から64歳まで |
| 2. 30歳から39歳まで | 6. 65歳から69歳まで |
| 3. 40歳から49歳まで | 7. 70歳から74歳まで |
| 4. 50歳から59歳まで | 8. 75歳以上      |

問3 あなたの世帯のタイプは次のうちどれに該当しますか。【○は1つだけ】

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. ひとり暮らしの世帯    | 5. 兄弟や親戚と同居   |
| 2. 夫婦のみの世帯      | 6. 友人や知人と同居   |
| 3. 二世帯世帯(親と子)   | 7. その他        |
| 4. 三世帯世帯(親と子と孫) | (具体的に: _____) |

問4 あなたの世帯には、あなた自身も含めて、次のいずれかに該当する方はいますか。  
【あてはまるものすべてに○】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 乳児(1歳未満)       | 5. 65～74歳の方     |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6. 75歳以上の方      |
| 3. 小学生            | 7. 介護・介助を必要とする方 |
| 4. 中学生            | 8. 障害のある方       |
|                   | 9. 該当する方はいない    |

問5 あなたのお住まいはどの地区になりますか。【○は1つだけ】

- |   |
|---|
| 1. 中部地区(蟹甲町・折戸町・栄1～2丁目・本郷町・岩崎町・岩藤町・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山) |
| 2. 東部地区(藤枝町・米野木町・三本木町・藤島町・北新町・五色園・栄3～5丁目・米野木台)    |
| 3. 西部地区(赤池町・赤池・赤池南・浅田町・浅田平子・梅森町・梅森台・野方町・香久山・岩崎台)  |

## 2. 近所づきあいやあなたの不安・悩みと相談先等について

問6 あなたは地域での付き合い(近所づきあい)をどの程度していますか。【○は1つだけ】

1. 仲がよくお互いの家を行き来する
2. 会えば立ち話をする
3. 顔を合わせればあいさつをする
4. 顔は知っているが声をかけることはあまりない
5. ほとんど顔も知らない
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問7 地域での付き合い(近所づきあい)は、どの程度が望ましいと思いますか。

【○は1つだけ】

1. 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う
2. 気の合う住民の間で困ったときに助け合う
3. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する
4. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする
5. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす
6. 地域での付き合いは必要ない
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
8. わからない

問8 あなたはふだんの暮らしの中で、どのような不安や悩みを感じていますか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 自分の健康のこと        | 9. 家族内の人間関係のこと   |
| 2. 家族の健康に関すること     | 10. 近所付き合いに関すること |
| 3. 子育てに関すること       | 11. 災害に関すること     |
| 4. 介護に関すること        | 12. 地域の治安に関すること  |
| 5. 自分の仕事に関すること     | 13. その他          |
| 6. 家族の仕事に関すること     | (具体的に: _____)    |
| 7. お金(収入や家計)に関すること | 14. 特にない         |
| 8. 生きがいや将来に関すること   |                  |

問9 10年後のあなたご自身やあなたの家族の状況を考えた場合、10年後のふだんの暮らしの中で、どのような不安や悩みを感じていると思われますか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 自分の健康のこと        | 9. 家族内の人間関係のこと   |
| 2. 家族の健康に関すること     | 10. 近所付き合いに関すること |
| 3. 子育てに関すること       | 11. 災害に関すること     |
| 4. 介護に関すること        | 12. 地域の治安に関すること  |
| 5. 自分の仕事に関すること     | 13. その他          |
| 6. 家族の仕事に関すること     | (具体的に: _____)    |
| 7. お金(収入や家計)に関すること | 14. 特にない         |
| 8. 生きがいや将来に関すること   |                  |

問10 ふだんの暮らしの中で困ったり不安を感じたときに、家族や親族以外では、誰に相談しますか。【あてはまるものすべてに○】

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 9. 警察                |
| 2. 区や自治会等の役員 | 10. 社会福祉協議会          |
| 3. 近所の人      | 11. 福祉サービス事業所        |
| 4. 知人・友人     | 12. ボランティア・NPOなど     |
| 5. 職場の同僚・上司  | 13. その他              |
| 6. 行政(市役所など) | (具体的に: _____)        |
| 7. 学校や保育園など  | 14. どこに相談したらよいかわからない |
| 8. 医療機関      |                      |

問11 市内には、さまざまな分野の相談支援機関や相談窓口がありますが、次のうち、ご存じのものはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 地域包括支援センター                   | 6. 暮らしサポート窓口       |
| 2. 特定相談支援事業所<br>(障害者基幹相談支援センター) | 7. 家庭児童相談窓口        |
| 3. 子育て世代包括支援センター                | 8. 保健センター          |
| 4. 子育て支援センター                    | 9. その他             |
| 5. 児童発達支援センター                   | 10. 市内にある相談窓口は知らない |
|                                 | (具体的に: _____)      |

問12 あなたは、社会福祉協議会が社会福祉法第109条に定められた地域福祉の推進を図ることを目的とする「民間の福祉団体」であることをご存知でしたか。【○は1つだけ】

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 社会福祉協議会を知っており、かつ、民間団体であることも知っていた |
| 2. 社会福祉協議会は知っているが、市の機関だと思っていた       |
| 3. 社会福祉協議会を知らなかった                   |

### 3. 地域生活課題を抱えた人・世帯の実態や地域の助け合い等について

問13 あなたは、ご近所(家族は除く)で、次のような地域生活課題を抱えた人・世帯(その疑いのある人・世帯を含む)を見聞きしたことがありますか。

【あてはまるものすべてに○】

- |  |   |
|--|---|
| 1. 認知症                                     | 9. ダブルケア(子育てと家族の介護など複数のケアに携わる人)   |
| 2. 高齢者や障害者への虐待                             | 10. 老老介護・認認介護(老老介護:高齢者の介護を高齢者が行うこと。認認介護:認知症のある高齢の方の介護を認知症のある高齢の家族が行うこと) |
| 3. 子どもへの虐待                                 | 11. 生活に不安がある単身高齢者   |
| 4. DV(配偶者等からの暴力)                           | 12. 生活困窮者・世帯  |
| 5. 引きこもり                                   | 13. アルコールや薬物、ギャンブル等の依存症   |
| 6. ニート(仕事に就いておらず、家事も通学もしていない若者)            | 14. その他   |
| 7. 8050問題(80歳代の親が50歳代の子どもの生活を経済面等で支えている問題) | (具体的に: _____)   |
| 8. ヤングケアラー(家族の介護をする18歳未満の子ども)              | 15. 上記の1.~13.のような人・世帯を見聞きしたことはない  |

**問14** 地域で、ひとり暮らし高齢者、介護や病気、子育てなどで困っている世帯に対して次のような手助けした経験はありますか。【あてはまるものすべてに○】

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け                       | 9. 短時間の子どもの預かり         |
| 2. 話し相手                           | 10. 保育園・幼稚園等の送迎        |
| 3. 子育ての相談                         | 11. 学校や児童クラブ等の送迎       |
| 4. 介護等の相談                         | 12. 通院や外出の送迎           |
| 5. 介護や子育て等の関係機関の紹介・情報提供           | 13. (送迎を除く)通院や外出の付き添い  |
| 6. ちょっとした買い物                      | 14. 災害時など緊急時の避難等の手助け   |
| 7. ちょっとした家事(食事の差し入れや掃除、洗濯物の取り込み等) | 15. その他<br>(具体的に_____) |
| 8. ごみ出し                           | 16. 近隣で困っている世帯がない      |
|                                   | 17. 手助けした経験がない         |

**問15** 地域で、ひとり暮らし高齢者、介護や病気、子育てなどで困っている世帯があったら、今後(今後とも)、あなたにできる手助けは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け                       | 9. 短時間の子どもの預かり         |
| 2. 話し相手                           | 10. 保育園・幼稚園等の送迎        |
| 3. 子育ての相談                         | 11. 学校や児童クラブ等の送迎       |
| 4. 介護等の相談                         | 12. 通院や外出の送迎           |
| 5. 介護や子育て等の関係機関の紹介・情報提供           | 13. (送迎を除く)通院や外出の付き添い  |
| 6. ちょっとした買い物                      | 14. 災害時など緊急時の避難等の手助け   |
| 7. ちょっとした家事(食事の差し入れや掃除、洗濯物の取り込み等) | 15. その他<br>(具体的に_____) |
| 8. ごみ出し                           | 16. 近隣で困っている世帯がない      |
|                                   | 17. 特に手助けできることはない      |

**問16** あなた自身やあなたのご家族が、介護や病気、子育てなどで困った時、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け                       | 9. 短時間の子どもの預かり         |
| 2. 話し相手                           | 10. 保育園・幼稚園等の送迎        |
| 3. 子育ての相談                         | 11. 学校や児童クラブ等の送迎       |
| 4. 介護等の相談                         | 12. 通院や外出の送迎           |
| 5. 介護や子育て等の関係機関の紹介・情報提供           | 13. (送迎を除く)通院や外出の付き添い  |
| 6. ちょっとした買い物                      | 14. 災害時など緊急時の避難等の手助け   |
| 7. ちょっとした家事(食事の差し入れや掃除、洗濯物の取り込み等) | 15. その他<br>(具体的に_____) |
| 8. ごみ出し                           | 16. 特に手助けしてほしいことはない    |

## 4. 地域福祉活動・ボランティア活動と高齢期の過ごし方について

問17 現在、あなたは、次の（ア）～（シ）のような地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動に関わっていますか。また、今後関わっていきたいですか。（ア）～（シ）の項目それぞれについて、1～6の該当する番号を1つだけ選んで○をつけてください。

	選択肢（※該当する1～6の番号に○印）					
	現在参加している		これまで参加したことがあるが、今はやめている		これまで参加したことはない。	
	今後も続けていきたい	今後はやめたい	今後また関わってみたい	今後も関わるつもりはない	今後は関わってみたい	今後も関わるつもりはない
（ア）防火・防災	1	2	3	4	5	6
（イ）防犯・交通安全	1	2	3	4	5	6
（ウ）子育ての支援 や子どもの見 守り活動	1	2	3	4	5	6
（エ）福祉施設・医療 機関でのボラ ンティア活動	1	2	3	4	5	6
（オ）障害者の支援	1	2	3	4	5	6
（カ）高齢者介護の 支援（見守り・ サロン活動等）	1	2	3	4	5	6
（キ）家族介護をし ている人への 支援	1	2	3	4	5	6
（ク）健康づくり	1	2	3	4	5	6
（ケ）生活困窮者に 関すること	1	2	3	4	5	6
（コ）子どもの貧困 に関すること	1	2	3	4	5	6
（サ）若者のひきこ もりの問題	1	2	3	4	5	6
（シ）複合的な地域 生活課題※を抱 えている人・世 帯への支援	1	2	3	4	5	6

※ 8050 問題(80 歳代の親が 50 歳代の子どもの生活を経済面等で支えている問題)、ダブルケア(子育てと家族の介護など複数のケアに携わる人)、ヤングケアラー(家族の介護をする 18 歳未満の子ども)といった課題のこと。

問18 問17の(ア)～(シ)のような地域福祉活動等の活動をして得たものや自分のためになったことはありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 生きがいになった
2. 多くの仲間ができた
3. 仕事に好影響があった
4. 健康になった
5. 日進市の行政に詳しくなった
6. 日進市への愛着が増した
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
8. 特に得たものはない
9. 地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動をした経験がない

問19 あなたは、定年退職後などの高齢期を主にどのように過ごしたいとお考えですか。

【○は3つまで】※既に高齢期を迎えておられる方もご回答ください。

1. 経済的に自立するために、現役同様に働きたい
2. 収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい
3. 趣味や余暇を楽しみたい
4. 知識や教養を高め自分自身の向上に努めたい
5. 地域に貢献できるようなボランティア活動などをしたい
6. 特に何もしないでのんびりと過ごしたい
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
8. わからない

## 5. 福祉に関する情報について

問20 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 子ども・子育て、学校教育について
2. 高齢福祉、介護保険について
3. 障害福祉について
4. 生活困窮、生活保護について
5. ボランティアやNPOなどの市民活動について
6. 生きがいづくり(講座、教室、サークル活動など)について
7. 企業の社会貢献活動について
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
9. 今は特にない

問21 あなたは、問20の1.～6.のような福祉に関する情報について、どの程度情報を得ることができていますか。【○は1つだけ】

1. 十分情報を得ることができている
2. まあまあ情報を得ることができている
3. あまり情報を得ることができていない
4. 全く情報を得ることができていない
5. わからない

問22 問20の1.～6.のような福祉に関する情報をより得やすくするために、どのような情報発信を充実してほしいですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 市の「広報につしん」	10. 回覧板
2. 市のウェブサイト	11. 新聞・雑誌
3. 市のSNS(フェイスブックやLINEなど)	12. テレビ・ラジオ
4. につしんお知らせメール	13. インターネット(ネット検索情報)
5. 市役所窓口での案内	14. 友人や近所の方からの口コミ
6. 民生委員・児童委員からの案内	15. 福祉サービス事業所等からの案内
7. 社会福祉協議会の「福祉だより」	16. その他
8. 社会福祉協議会のウェブサイト	(具体的に: _____)
9. 社会福祉協議会窓口での案内	17. 特にない

## 6. 地域福祉施策について

問23 今後、市及び社会福祉協議会は、以下のどの地域福祉関連施策を優先して充実すべきだと思いますか。【優先すべきと思う施策5つまで○】

1. 地域活動やNPO・ボランティアなどの参加促進や活動支援
2. 身近なところでの相談窓口の充実
3. 高齢や障害によって介護が必要になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実
4. 複合的な生活課題を抱える住民を包括的に支援するための関係機関の連携強化
5. 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実
6. 健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実
7. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
8. サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取組み
9. 福祉教育の充実
10. 高齢者、障害者の入所施設の充実
11. 車を利用できない人への市内移動支援に関するサービスの充実
12. 子どもや若者の居場所づくりなど、子ども・若者に関わる施策の充実
13. 保育や居場所づくりなど、子育てに関するサービスや活動の充実
14. 児童福祉施設の充実
15. 低所得者の自立支援
16. 災害時における避難行動要支援者に関わる施策の充実
17. その他(具体的に: _____)
18. わからない
19. 特に優先して充実すべき施策はない

**問24** 地域で安心して暮らしていくための地域福祉を充実させていくうえで、市民と行政との関係について、あなたのお考えに近いものはどれですか。【〇は1つだけ】

1. 家庭内や、地域内で市民が互いに助け合い、手の届かない部分は行政が援助する
2. 福祉の充実のため、市民も行政も協力し、ともに取り組む
3. 福祉の充実は行政に責任があるが、行政の手の届かない部分は市民が協力する
4. 福祉の充実は行政に責任があり、市民は協力する必要がない
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
6. わからない

**問25** 日進市の福祉関連予算について、あなたのお考えに近いものはどれですか。【〇は1つだけ】

1. 税金を上げてでも福祉サービスを充実すべき
2. どちらかと言えば上の「1.」の意見に近い
3. どちらかと言えば下の「4.」の意見に近い
4. 税金を上げず現在の福祉サービスを維持する
5. わからない

**問26** 安心して長く住み続けられる福祉の地域づくりを進めていくためのご意見やご要望などがありましたら、自由にお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

**以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。**

**相談支援機関、事業所、団体等の関係機関・関係者向けアンケート**  
**～日進市第2期にっしん幸せまちづくりプラン策定のための**  
**アンケート調査へのご協力のお願い～**

日頃は日進市の地域福祉の推進にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

日進市及び日進市社会福祉協議会では、「にっしん幸せまちづくりプラン」(計画期間：平成27年度～令和6年度)に基づき、市民活動をはじめ、行政、地域福祉の推進を目的とする団体である社会福祉協議会、社会資源である社会福祉事業者等による重層的な支援体制を構築し、地域福祉のさらなる発展を目指してきました。

現在のプランの計画期間が令和6年度末で終了するため、今年度から令和6年度にかけて、新たに「第2期にっしん幸せまちづくりプラン」の策定に着手することになりました。

新たなプランの策定にあたり、日進市内の高齢、障害、子ども・子育て、教育、生活困窮の各分野における相談支援機関や事業所、団体等の関係機関や関係者の皆様からご意見を伺い、プランに反映させるため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和5年12月

日進市長

近藤 裕貴

日進市社会福祉協議会 会長 青山 雅道

**回答期限：令和6年1月■日(■)**

**次ページを必ずお読みください。**



## ★ご回答の前にお読みください。

### 地域共生社会の実現に向けて①

#### ～地域福祉推進の理念～

●かつては、地域の相互扶助や家族同士の助け合いなど、地域・家庭・職場といった人々の生活の様々な場面において、支え合いの機能が存在しました。社会保障制度においても、高齢者、障害者、子どもなどの対象者ごとや、生活に必要な機能ごとに、公的支援制度の整備と公的支援の充実が図られてきました。

●しかし、現在では、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。また、対象者別・機能別に整備された公的支援についても、様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とするといった状況（※）がみられ、対応が困難なケースが浮き彫りとなっています。

※例えば、8050問題、子どもの貧困、ヤングケアラーやダブルケアなど、世代等を越え、複雑な地域生活課題、制度の狭間にある地域福祉的な課題が挙げられます。

●こうした背景を踏まえ、平成29年の改正社会福祉法では、「支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な地域生活課題について、住民や福祉関係者による把握及び関係機関との連携等による解決が図られることを目指す」地域福祉推進の理念が規定されました。

●また、この理念を実現するため、市町村が、

①地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための環境整備

②住民に身近な圏域において、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整等を行う体制包括的な支援体制づくり

に努める旨が規定されました。

次ページに続いています。

## 地域共生社会の実現に向けて②

### ～重層的支援体制整備事業の創設～

- 地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する市町村における包括的な支援体制の構築を推進するため、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う市町村の新たな事業の創設が提言され、令和2年6月に改正社会福祉法が成立し、令和3年4月から「重層的支援体制整備事業」が施行されることになりました。
- 重層的支援体制整備事業では、市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須にしています。また、3つの支援を支えるための事業として「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」「多機関協働事業」も併せて整備され、それぞれの事業が一体的に展開することで一層の効果が出ると考えられています。

包括的相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める</li> <li>・支援機関のネットワークで対応する</li> <li>・複雑化・複合化した課題については適切に多機関協働事業につなぐ</li> </ul>
参加支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とのつながりを作るための支援を行う</li> <li>・利用者のニーズを踏まえた丁寧なマッチングやメニューをつくる</li> <li>・本人への定着支援と受け入れ先の支援を行う</li> </ul>
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代や属性を超えて交流できる場や居場所を整備する</li> <li>・交流、参加、学びの機会を生み出すために個別の活動や人をコーディネートする</li> </ul>
アウトリーチ等を通じた継続的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が届いていない人に支援を届ける</li> <li>・会議や関係機関とのネットワークの中から潜在的な相談者を見付ける</li> </ul>
多機関協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村全体で包括的な相談支援体制を構築する</li> <li>・重層的支援体制整備事業の中核を担う役割を果たす</li> <li>・支援関係機関の役割分担を図る</li> </ul>

## 貴事業所等の概要について

問1 貴事業所等の名称等をご記入ください。

例：社会福祉法人●● ▲▲▲デイサービスセンター、NPO法人■ ■ ■ ◆◆◆園、  
 スクールカウンセラー

問2 貴事業所等が提供しているサービス・事業分野は次のうちどれですか。【○は複数可】

1. 高齢福祉分野(介護保険サービス等)
2. 障害福祉分野
3. 子ども・子育て分野(保育園、幼稚園、児童クラブ等)
4. 教育分野(小中学校、スクールカウンセラー)
5. 生活困窮分野
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問3 貴事業所等の所在地はどの地域になりますか。【○は1つだけ】

1. 中部地区(蟹甲町・折戸町・栄1～2丁目・本郷町・岩崎町・岩藤町・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山)
2. 東部地区(藤枝町・米野木町・三本木町・藤島町・北新町・五色園・栄3～5丁目・米野木台)
3. 西部地区(赤池町・赤池・赤池南・浅田町・浅田平子・梅森町・梅森台・野方町・香久山・岩崎台)

## 複合的な地域生活課題を抱えている人・世帯の実態と 他の専門機関等との連携・協働について

問4 過去1年間、貴事業所等の“サービス・事業分野以外の困りごと”(＝複合的な地域生活課題)を抱えている利用者・相談者またはその世帯の状況を見聞きしたことはありますか。①～⑩の“困りごとの内容”ごとそれぞれについて見聞きした頻度をお聞かせください。

困りごとの内容	選択肢：見聞きした頻度（※1～5の番号に○印）				
	週に1回程度又はそれ以上	月に1～3回程度	2～3カ月に1回程度	年1～2回程度	全くない
① 認知症(疑いを含む)の方	1	2	3	4	5
② 障害児・者やその疑いのある方	1	2	3	4	5
③ 高齢者や障害児・者への虐待(疑いも含む)	1	2	3	4	5
④ 子どもへの虐待(疑いも含む)	1	2	3	4	5
⑤ DVを受けている方	1	2	3	4	5
⑥ 引きこもりの方	1	2	3	4	5
⑦ ニートの方	1	2	3	4	5

困りごとの内容	選択肢：見聞きした頻度（※1～5の番号に○印）				
	週に1回程度又はそれ以上	月に1～3回程度	2～3カ月に1回程度	年1～2回程度	全くない
⑧ 8050問題を抱えている世帯	1	2	3	4	5
⑨ ヤングケアラー	1	2	3	4	5
⑩ ダブルケアを抱えている方	1	2	3	4	5
⑪ 老老介護・認認介護の方	1	2	3	4	5
⑫ 生活に不安がある単身高齢者	1	2	3	4	5
⑬ 生活困窮者・世帯	1	2	3	4	5
⑭ アルコールや薬物、ギャンブル等の依存症を抱えている方	1	2	3	4	5
⑮ ごみ屋敷	1	2	3	4	5
⑯ 犬猫の多頭飼育崩壊	1	2	3	4	5
⑰ 高齢者・障害者等の消費者被害を抱えている方	1	2	3	4	5
⑱ その他(具体的に_____)	1	2	3	4	5

問5 問4でご回答した“サービス・事業分野以外の困りごと”を把握した場合に、どのように対処しましたか。【○は1つだけ】

1. 他の相談支援機関等につないだ →【問6】へ
2. 他の相談支援機関等につなごうとしている
3. 他の相談支援機関等につながなかった・まだつないでいない →【問7】へ
4. “サービス・事業分野以外の困りごと”を抱えている人はいない・把握していない

問6 問5で、「1. 他の相談支援機関等につないだ」と回答された方におたずねします。他の相談支援機関等につないだ後もそのケースに関わりを持っていましたか・持っていますか【○は1つだけ】

1. つないだ後もそのケースに関わった・関わりを持っている
2. ケースによっては、つないだ後もそのケースに関わったこともある
3. つないだ後は、他の相談支援機関等に任せてそのケースに関わりを持たなかった・持っていない

問7 問5で、「3. 他の相談支援機関等につながなかった・まだつないでいない」と回答された方におたずねします。他の相談支援機関等につながなかった理由は何ですか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 他の相談支援機関等の機能・役割がわからないため、どこに連絡してよいかかわからない
2. 他の相談支援機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
3. 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
4. 個人情報の取り扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
5. その他(自由記述) [ \_\_\_\_\_ ]

## 区・自治会、ボランティアやNPO等と 連携した活動について

**問8** 現在、貴事業所等では、地域の諸団体（区・自治会、ボランティアやNPO等）と協力して次の①～⑪のような地域福祉活動等に関わっていますか。また、今後関わっていきたいですか。①～⑪の項目それぞれについて、1～6の該当する番号を1つだけ選んで○をつけてください。

	選択肢（※該当する1～6の番号に○印）					
	現在関わっている		これまで関わったことがあるが、今はやめている		これまで関わったことはない	
	今後も続けていきたい	今後はやめたい	今後また関わってみたい	今後もうまく関わるつもりはない	今後は関わってみたい	今後もうまく関わるつもりはない
① 高齢者・障害者等の安否確認・見守り活動への協力	1	2	3	4	5	6
② 住民主催のつどいの場への参加、協力	1	2	3	4	5	6
③ 認知症カフェの開催・立ち上げ支援	1	2	3	4	5	6
④ 介護・支援が必要な人の早期発見のための情報共有	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域住民を対象にした教室の共同開催（例：認知症出前講座、健康体操教室）	1	2	3	4	5	6
⑥ 災害時における相互協力（例：災害時に応急の避難所としての施設開放など）	1	2	3	4	5	6
⑦ 家族介護をしている人への支援	1	2	3	4	5	6
⑧ 子育ての支援や子どもの見守り活動	1	2	3	4	5	6
⑨ 子どもの貧困に関する活動	1	2	3	4	5	6
⑩ 生活困窮者に関すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 若者のひきこもりの問題に対する活動	1	2	3	4	5	6

問9 問8の①～⑪の活動以外に、貴事業所等では、今後、地域の諸団体（区・自治会、ボランティアやNPO等）と交流や協力をしたいという具体的なお考え、あるいはご要望がありますか。【自由回答】

問10 日進市の地域福祉活動をさらに活発なものとしていくために、住民相互の支え合い機能の強化、複合的課題への包括的な支援体制づくりなどが課題となっています。貴事業所等の立場から、地域福祉の充実に向けてどのようなことが特に大きな課題であると思われますか。【自由回答】

問11 問10で回答いただいた課題の解決にあたって、貴事業所等としてご協力いただけることやご提案などをお聞かせください。【自由回答】

問12 4ページで述べた重層的支援体制整備事業を関係機関等と連携しながら進めていくためのご意見やご提案などをお聞かせください。【自由回答】

**以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。**